

令和3年2月18日	
所 属	歴史博物館
所属長	伊元 俊幸
電 話	06-6489-9801

## 「シンポジウム：ユニチカ記念館の保存活用を考える」を開催します

尼崎市教育委員会は、3月27日に歴史的建築物の耐震補強や活用コンサルティングなどの専門家を招き、ユニチカ記念館の現地での保存活用について課題や可能性を考えるシンポジウムを一般社団法人日本建築学会近畿支部近代建築部会と、ひょうごヘリテージ機構 H<sup>2</sup>O 阪神地区とで共催します。

尼崎市東本町に位置する同記念館は旧尼崎紡績本社屋として明治33（1900）年に竣工（しゅんこう）した市内に現存する最古の洋館で、文化財として高く評価されています。

### 1 日時と会場

3月27日（土）午後1時30分～5時、尼崎市立歴史博物館3階講座室

### 2 内容

次の専門家による講演の後、質疑応答と討論を実施します。

#### ▼講師

- 笠原一人 京都工芸繊維大学助教／一般社団法人日本建築学会近畿支部近代建築部会主査  
富永善啓 株式会社文化財構造計画代表取締役  
金野幸雄 一般社団法人創造遺産機構理事  
橋本健治 建築家／兵庫県ヘリテージマネージャー

### 3 定員

先着35人（入場無料）

### 4 申込方法

2月19日から氏名、住所、電話番号、所属、返信用メールアドレスを記載の上、メールでひょうごヘリテージ機構 H<sup>2</sup>O 阪神地区シンポジウム事務局（furubayashi3@nifty.com）へ申し込み。

### 5 主催

一般社団法人日本建築学会近畿支部近代建築部会・ひょうごヘリテージ機構 H<sup>2</sup>O 阪神地区・尼崎市教育委員会

### 6 後援

近畿産業考古学会・特定非営利活動法人阪神文化財建造物研究会

### 7 問い合わせ

ひょうごヘリテージ機構 H<sup>2</sup>O 阪神地区シンポジウム事務局（電話：080-6216-1574）

### 8 解禁設定

2月19日（金）午前0時以降の解禁となります。

以 上

# シンポジウム ユニチカ記念館の保存活用を考える

尼崎市東本町に位置するユニチカ記念館が、解体の危機に直面している。旧尼崎紡績本社屋として1900年に竣工し、外壁を赤煉瓦の表し仕上げとするイギリス風の格調高い煉瓦造の建物である。尼崎市内に現存する最古の洋館だとされ、工業都市として発展した尼崎市の近代化を象徴する重要な建物であるため、残してほしいという声は多い。経済産業省の「近代化産業遺産」や兵庫県の「景観形成重要建造物」などにも選定されており、文化財的評価も高い。なんとか残せないか。どうすれば残せるのか。歴史的建築物の耐震補強や改修設計、活用コンサルティングなどの専門家をお招きして、ユニチカ記念館の現地での保存活用について、課題や可能性を考える。



## ■ 講師（敬称略・講演順）

- 笠原一人 京都工芸繊維大学助教／一般社団法人  
日本建築学会近畿支部近代建築部会主査  
富永善啓 株式会社文化財構造計画代表取締役  
金野幸雄 一般社団法人創造遺産機構理事  
橋本健治 建築家／兵庫県ヘリテージマネージャー



■ 日時 2021年3月27日（土）13:30～17:00

■ 受付 13:00～

■ 会場 尼崎市立歴史博物館 3階 講座室

（兵庫県尼崎市南城内10-2 阪神電鉄尼崎駅より徒歩 約10分）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入室時に手指消毒・非接触型検温器による検温を行います。

また、発熱や咳、体調不良等の症状がある方は、事前申込者であっても参加をお断りします。

■ 募集定員 先着35名（入場無料）

■ 申込方法

氏名／住所／電話番号／所属／メールアドレスを記載し、下記事務局宛てメールでお申込み下さい。

■ お問い合わせ・お申込み

ひょうごヘリテージ機構 H<sup>2</sup>O 阪神地区シンポジウム事務局

E-mail : [furubayashi3@nifty.com](mailto:furubayashi3@nifty.com) TEL : 080-6216-1574

主催 一般社団法人日本建築学会近畿支部近代建築部会  
ひょうごヘリテージ機構 H<sup>2</sup>O 阪神地区  
尼崎市教育委員会

後援 近畿産業考古学会／特定非営利活動法人阪神文化財建造物研究会